六十谷の灯

校長先生からのメッセージ
自律した「習慣」で未来を切り拓く

校長　岩本　信哉

市高定
令和8年6月19日
発行
令和8年度

高校生活は、特別な出来事だけで形づくられるものではありません。仕事や家事、あるいはそれぞれの抱える事情と向き合いながら通う皆さんの、日々の何気ない選択の積み重ねこそが、やがて確かな力となって現れます。どのような毎日を過ごすかは自分自身の選択であり、その結果は確実に自分に返ってきます。

本校が大切にしているのは、校訓である「誠実」「思索」「実践」です。現実から目を逸らさず向き合うこと、自ら問いを立てて考え抜くこと、そして考えたことを行動に移すこと。これらを支えるのが「習慣」であり、「習慣」の質がそのまま自分自身の成長を決定づけます。

「習慣」とは、単なる繰り返しではなく、自分自身との約束を守り続ける厳しさです。限られた時間の中での登校、授業への向き合い方、周囲への接し方。どれも特別なことではありませんが、「これくらいでよい」という甘えを許すかどうかで、結果は大きく分かれます。当たり前のことをやり切る姿勢だけが、周囲からの信頼と成果を生み出します。

また、一人ひとりの行動は、教室の雰囲気をつくります。誰かの真剣さが周囲に良い影響を与えることもあれば、その逆もあります。時間を守る姿勢、集中して授業に臨む態度、気持ちのよい挨拶。これらは「できるかどうか」の問題です。その積み重ねが、共に学ぶ場としての質を高めていくという自覚を持たなければなりません。

正解のない社会では、自ら考え、選び取り、その結果に責任を持つ力が求められます。日々の中で改善を徹底できるかどうかが将来を分けます。夜の学び舎で過ごす「今、この瞬間」の選択が、未来を決定します。自分に甘えることなく、自らの道を切り拓いていくことを心から願っています。

今年赴任された先生から一言

教頭　安藤　慎介

皆さん、はじめまして。

この度、教頭として赴任しました安藤です。

本校で新たな学年や環境での学校生活等が始まり、期待と同時に少しの不安を感じている人もいるかと思います。それは私も同じです。初めてのこの環境で不安な気持ちはありますが、皆さんと出会い、学べることに楽しみも感じています。

定時制高校というのは、年齢や経験、生活スタイルも様々な人が集まる場所と考えています。一人ひとりが異なる「背景」を持ちながら、同じ時間にこの学び舎に集うことには、大きな価値があると思います。

私が皆さんに大切にしてほしいのは、「自分の歩幅で進むこと」です。周りと比べる必要はありません。昨日の自分より半歩だけ前に進めたなら、それは立派な成長です。

何かあれば気軽に声をかけてください。皆さんが「ここに来てよかった」と思える学校を、先生方と一緒に作っていきたいと考えています。

これから卒業まで、皆さんの伴走者として共に歩んでいけることを楽しみにしています。一年間、どうぞよろしくお願いします。

国語科　服部　好延

この四月からお世話になっています。

これまで長く中学校や小学校で過ごしてきたため、高校での勤務は今回がはじめてになります。わからないことも多く不安もありますが、新しい環境に触れ、日々新鮮さを感じています。授業をとおして、言葉の面白さやむずかしさを一緒に学んでいきましょう。

どうぞよろしくお願いします。

商業科　石井　文敏

この四月からお世話になっています。

担当する教科は、商業科で、情報、法律や経済に関する科目が中心となるかと思います。ややこしい用語がたくさんある科目ですが、コツコツ積み重ねることで理解が深まり、今日の社会がどんな状況にあるのかが、徐々にわかってくるかと思います。

一歩前へ、何事にもチャレンジする勇気を持って、学習に励んでください。

検定合格に向けて、みんなと一緒に先生も頑張りたいと思います。

最後に、友人や先生方との交流を深め、楽しい学校生活を送ってください。

行事日程

6月の行事（19日以降）
22日（月）　期末考査時間割発表
29日（月）～7月2日（木）期末考査

7月の行事
3日（金）～6日（月）答案指導
15日（水）～16日（木）三者面談
17日（金）1学期終業式

検定試験
6月21日（日）
全商ビジネス計算実務検定
6月28日（日）
全商簿記実務検定
7月5日（日）
全商ビジネス文書実務検定

校門にさく「ツツジ」です